

## 平成30年度事業報告書

平成30年度の運営方針としては、「ご利用者の満足度を高める施設作り」を目標に、今まで当たり前のようにはしていたことや慣れっこになっていたことについて見直し、入所者の方やデイケア利用者の方に安全・安心な二葉園を利用していただく様に心がけました。その中でも、事故については、リスクマネジメント委員会（理事長もこの委員会に参加しています。）及び定例会議で事故報告書から原因分析とその対策を協議して、ご利用者一人ひとりが有する潜在的、顕在的なリスク等の情報収集を行い、サービスの個別化を図り事故を防止してきました。それにより、介護職員を起因とする事故や大きな事故については、前年を大幅に減少させることができました。

次に、職員の教育について、入職時及び入職後の研修体系を整備し、入職後出来るだけ同じ職員が指導することとし、入職後の不安を解消し、働きやすい職場、職員が長く働ける職場作りを目指しました。また、職員研修についても、新人職員及び既存の職員に対し、年間カリキュラムを作成し、必修研修として、職員の資質向上(理事長主催の理念研修を月1回ペースで行いました)を目指すと共に、外部研修に参加した職員を職員研修の講師とするなど、職員のモチベーションを上げる工夫もしました。

また、通所リハビリテーションについては、午前中のみ短時間制度を継続し、新たに午後からの短時間利用者を受け入れする等して、利用者とその家族のニーズに対応することにより、前年を上回るご利用をいただきました。また、1昨年9月より機能訓練特化型デイケアを新たに稼働させた利用者を含めると、1日平均55名を超えるようになりました。来年度は、今後も地域の方々に気軽に利用していただける施設となるよう、努力します。入所については、在宅復帰施設であるという考えを職員と共有し、強化型施設を目指すと共に、ベッド稼働率についても高い数値を維持することと、今後も、利用者の満足度を高める様、他職種と連携し、取り組みたいと思います。

地域貢献事業としては、例年通り、夏祭り（サマーカーニバル）への参加、地区運動会への職員参加等、昨年度と同様の活動を基本とし、中学生の職業体験を受け入れたり、地元住民を対象としたセミナーを開催したりして、コミュニケーションがさらに深まるよう努力しております。今後も地域活動を通して、二葉園の知名度を上げ、地域の方々と交流出来るようにし、災害時には、地域の方々と協働して救助応援をする関係づくりを目指します。

平成31年度についても、昨年同様認知症サポーター養成に力を入れ、職員全員がオレンジリングを身につけることが出来るようにするのはもちろんのこと、機会があれば外部へも出向き、安心して住み慣れた地域で暮らせるお手伝い出来るように地域の杖のような施設を目指します。また、施設での認知症ケア(本年度も公文学習療法を充実させる予定です。)についても施設外研修や施設内研修により、「安全・安心」の介護が出来るように、顧客満足度の向上と従業員満足度の向上を目指します。

平成31年6月14日  
社会福祉法人 日光会  
介護老人保健施設 二葉園